

みやこ町出身 山中恵理子 ヴァイオリンリサイタル



山中 恵理子 ーヴァイオリンー Eriko Yamanaka

ごあいさつ

今回は何を弾こう…。選曲を考える時、思い出と今現在の私の思いが一緒くたになる。

ショパンのノクターン。夜想曲という意味のこの作品は、もともとはピアノの為の作品なのだけど、あまりの人気に色々な楽器用に編曲されている。今回は数あるノクターンから2曲を。ショパンの作品は、秋のモスクワで毎日のように聴いていた。「黄金の秋」と呼ばれるショパンを生んだ国ポーランドとロシアの秋は、よく似ている。綺麗な落ち葉の絨毯の上で黄色やオレンジに紅葉した木々を見上げ、太陽の木漏れ日を浴びながら散歩するのが、私は堪らなく好きだった。

世界的に人気のオペラ「椿姫」。愛と悲しみの物語。初めてこの作品を鑑賞した時、私はもう涙がポロポロ。恋愛映画や恋愛本は沢山あれど、こんなにストレートに心に響くとは…。身分違いの愛、親が我が子を思う愛、命を賭けて貰う愛。その「椿姫」の中の名曲をメドレーにしてヴァイオリン用に編曲された曲をお届けします。

バッハのシャコンヌ。ヴァイオリンのみでの無伴奏作品。実は、これを弾くのは6年ぶり。演奏を通して気付く自分自身の変化に今、すごく興味がある。

シューベルトの幻想曲は、このシリーズコンサートと一緒に弾いてるピアニストの紋子さんのピアノで是非弾いてみたかった曲。

小さい頃から、私は人が傍で笑っていてくれるとすごく幸せだった。今、私はいつも人に囲まれている。共演者、スタッフ、お客さま。コンサート後に「また聴きに来ますね」と笑顔で声をかけて下さったり、後日お手紙を頂いたり。その方達がいってくれて、私が存在できる。演奏後に「ありがとう」という言葉を頂くことも多いけど、それはそっくりそのままお返ししたい。

聴いて下さってありがとうございます。

山中 恵理子

プロフィール

みやこ町(犀川町)生まれ。3歳より才能教育研究会スズキ・メソッドでヴァイオリンを始める。

私立梅光女学院高等学校音楽科を経て、2002年くらしき作陽大学音楽学部モスクワ音楽院特別コースに入学し、2006年卒業に至る間に、2003、2004年北九州芸術祭「スプリングコンサート」、2004年 京都国際音楽学生フェスティバルに日本選抜学生として出演、2005年 初のリサイタルを開催する。2006年 岡山交響楽団と共演。

2006年 大学卒業後、渡露しチャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院に留学。2006-2008年 同音楽院研究科に在籍し、2008年 同音楽院大学院に入学。2011年 修士号を取得し卒業。その間、音楽院主催のコンサートに多数出演する他、チャイコフスキーの家博物館(クリン)、チェーホフの家博物館(モスクワ)などモスクワ市近郊を含む音楽祭、市内美術館や博物館でのコンサートにも多数出演する他、2008、2009年 みやこ町で、2009、2010、2011年モスクワ音楽院ミャフコスキーホールにてソロリサイタルを開催。

これまでにヴァイオリンを三木妙子、アナスタシア・チェボタリョーヴァ、ナデージュダ・トカレヴァ、エドワード・グラッチ、アレクセイ・コシュヴァネツ、室内楽をアンドレイ・ジェルタノフ、ヴァレリー・ゲラシモフ、アレクサンドル・メルニコフ、ウラジーミル・スカナビの各氏に師事。

2011年9月 帰国し、現在は福岡を拠点に後進の指導を行う傍ら、ソロ、室内楽、オーケストラ客演等の演奏で活動中。

プログラム

- ショパン : ノクターン 第2番 作品9 / 第8番 作品27
- ボンセ : 小さな星 ーエストレリター
- アクロン : ヘブライの旋律 作品33
- アラール : 「椿姫」幻想曲
- バッハ : 無伴奏ヴァイオリンの為のバルティータ 第2番より 《シャコンヌ》
- シューベルト : 幻想曲

曲目は変更になることもございます。



林 紋子 ーピアノー

Ayako Hayashi

プロフィール

3歳よりヤマハ音楽教室でピアノと作曲を学ぶ。国内外でのJOCジュニアオリジナルコンサート、TV番組等に多数出演。第48回全日本学生音楽コンクール、九州大会、中学校の部第1位。第3回鳥栖ピアノコンクール、高校の部第1位、および総合でグランプリ。

第19回T I A A全日本クラシック音楽オーディション、最優秀賞。
第49回 西日本出身新人紹介演奏会、審査員奨励賞(ピアノ部門最高位)。
第6回大阪国際音楽コンクール、デュオ・アンサンブル部門、エスポール賞。
第151回日演連推薦新人演奏会にて、九州交響楽団とピアノコンチェルト共演。
桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科を経て、同大学研究生修了。これまでに、田中 美江、徳丸 聡子、ミハエル・ボスクレセンスキー各氏に師事。
現在、後進の指導を行う傍ら、リサイタルを行う等、ソロ、伴奏、室内楽等で演奏活動中。福岡県在住。



NPO法人 豊津小笠原協会

ごあいさつ

NPO 法人 豊津小笠原協会では、地域に伝わる文化の掘り起こしをはじめ、伝統文化の継承、育成など文化全般にわたって、新しい「郷土の文化」づくりをすすめているところです。

今回、森のレストラン・フォレストで音楽活動の一環として「季節に音を聴く」のコンサートを企画しました。

ロシア国立モスクワ音楽院で5年間ヴァイオリンの勉強を続け、実績を重ねてきた、みやこ町犀川出身の山中恵理子さんと友人のピアノ演奏者 林紋子さんの奏でる「秋」の音色が潇洒な森のレストランで響きます。みやこ町の風土が育てたヴァイオリニストの生演奏を、あなたに！フォレストの空間で、友人と一緒に楽しみましょう。